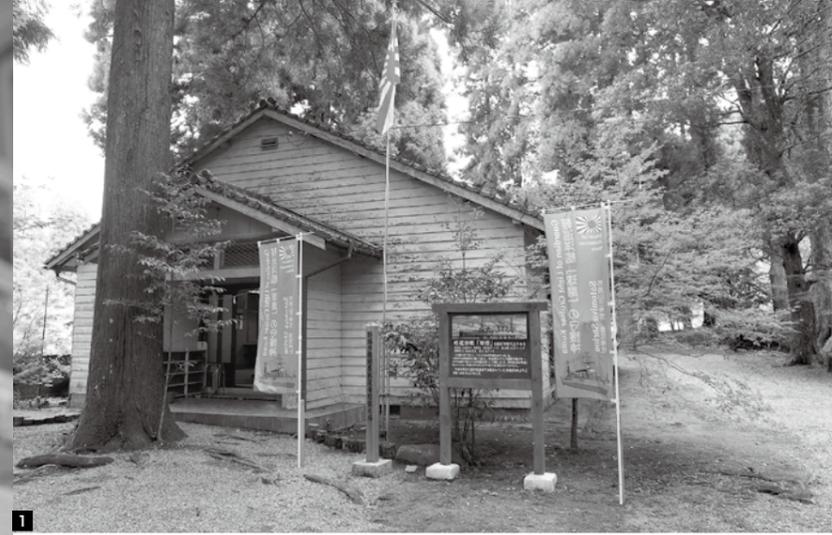
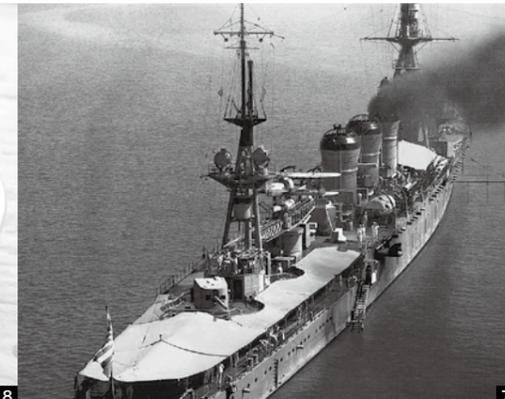




1 入口の軍艦旗は球磨で掲げられていた6桁の高さ 2 球磨など、軍艦の写真がずらり 3 パネルごとに内容を整理。入口のメッセージで慰霊の気持ちを伝える 4 漫画で分かる海軍の生活 5 御大師堂の「忠魂碑」の文字は東郷平八郎元帥のもの 6 映像は福田さんが作成。目でも耳でも分かる展示に 7 武装を隠すテント姿の球磨 8 球磨は南洋にいたため食料や燃料は豊かで、週1回カレーを食べていた。レストラン徳丸をはじめ、郡市内の飲食店で海軍カレーやスイーツを提供



MEMORIAL ~記録を私たちの記憶に~

歴史をつなぐ

徐々に明らかになってきた軽巡洋艦球磨の歴史。里宮神社の遺族会館にはどのような資料が、どんな思いで展示されているのでしょうか。球磨の歴史を調査し、さまざまな資料を里宮神社に提供する福田晃市さんや、福田さんとともに活動する金山充さんに話を聞きました。



INTERVIEW
人吉球磨海軍航空隊を顕彰する有志の会

福田 晃市さん(46=錦町)

Profile
平成26年10月から金山充さんらと一緒に人吉球磨に残る戦争遺跡を調査。ことし8月1日にオープンした錦町立人吉海軍航空基地資料館に大きく貢献。軽巡洋艦「球磨」の歴史も調査し、資料、写真、映像などを里宮神社に提供した。

軽巡洋艦球磨を研究する人たちの協力もあり、遺族会館には100点以上の資料が展示されています。人吉球磨の戦争遺跡を調査する福田晃市さんは「球磨という軍艦や、艦内に市房山神宮の神様が祭られていたことは地元の人にも知られていない。多くの人に、球磨がどんな艦だったか、乗組員がどうやって亡くなったのかを知ってもらいたい。たくさんの人に神社を訪れてもらうことが亡くなった人たちの供養につながるはず」と展示の目的を話します。

ファンと知恵を出し合う

展示は球磨の写真や特徴、年表だけでなく、当時の海軍、陸軍の生活にまでわたります。福田さんが作成した映像に加え、クリエイターががけた軽巡

いという人もいるほど。ツイッターを使って情報を発信しているが、すぐに拡散することからも関心の高さが分かる」と福田さん。軍艦と関係のある鹿児島県の霧島神宮(戦艦霧島)、宮崎県の宮崎神宮(戦艦日向)と併せて里宮神社を巡る「聖地巡り」もインターネット上で広まりつつあります。

日本遺産と海軍遺産をつなぐ

8月1日にオープンした錦町立人吉海軍航空基地資料館はオープンから1カ月で3162人が来館。同館を訪れた人の中には里宮神社に足を運ぶ人もいます。福田さんは「里宮神社は日本遺産でもあり、海軍遺産でもある。二つをつなぐ重要な場所。人吉海軍航空基地や他文化財と合わせて活用することで、より多くの人に地域を訪れてもらうきっかけになるはず」と話します。

戦争させない知恵を

展示で歴史を残していく意味について、金山充さんは「人吉海軍航空隊も史料館が完成したことで、今まで知られていなかった歴史が次々知られるようになってきている。資料館があると、今まで表に出てくることのなかった遺品が

洋艦や神社の神様のイラストなども展示。分かりやすく工夫されています。福田さんは「食べ物の情報も欲しいなど、インターネット上でつながった球磨ファンの知恵を活用している。一緒につくることで意見を出してくれた人も展示を見に来てくれる」と話します。

霧島、宮崎神宮と並ぶ聖地へ

県内で軍艦と関係のある神社はここだけ。ことし9月から里宮神社では今までの御朱印に加え、軽巡洋艦のイラストを使った御朱印の授与も開始。軍艦にかかわる御朱印は愛知県岡崎市の矢作神社に続き全国で2例目です。

「現在、軍艦を題材にしたゲームもあり、若者を中心に御朱印集めが流行っている。毎年開催されている漫画フェスタに併せて、里宮神社を訪れてみた



ことし9月に授与が始まった球磨のイラスト入りの御朱印。軍艦の御朱印は全国2例目

集まり、より多くの歴史を次の世代につなぐことができる」と話します。

たくさんさんの尊い命を奪う戦争。展示は戦争をなくすためのものでもあるという金山さん。「戦争せずに暮らせることが一番の幸せ。それは戦争をしてきた軍人も同じだったはず。戦争をしないだけでなく、仕掛けられたときに、相手に戦争をさせないことも大事。まずは、ここを訪れた人に、歴史をありのままに受け止めてもらう。戦争を知ること、戦争を無くすための知恵を絞れるようになれば」と思いを語りました。



かなやま みつる
金山 充さん(67=下村)